

『 C型肝炎 最新薬剤情報 Vol 2 』

～～夢のような治療法～～



『新体制 不要になるかも インターフェロン』

(新体制・・・2剤併用・・・耐性を抑え・・・)

▼ちょっとおさらい▼

前回は新薬テラプレビル (NS3, 4A阻害剤) のお話をしました
テラプレビルの12週間投与とペグインターフェロン+リバビリン併用療法24週間を
合わせると、全体で約80%の人が治癒します。というお話でした。

▼今回はその続編▼

C型肝炎の遺伝子は

C、E (1, 2)、NS2、NS3、NS4 (A, B)、NS5 (A, B) と分けられ、
これで全部です。

現在それぞれの部位を阻害する新薬が開発されつつあります。

※テラプレビルはその中のNS3, NS4Aの部分を阻害してウイルスを消失させます。

★次に有望な経口抗ウイルス剤はNS5Aの部分を阻害するお薬です。

▶▶ テラプレビルと同等の抗ウイルス効果があります。

しかし！！ 経口抗ウイルス剤は単独では、すぐ耐性が出て効かなくなります。

そこでNS3・NS4A阻害剤 (テラプレビル) とNS5A阻害剤を同時に投与し
耐性をなくす事が考えられました。(虎の門病院 熊田先生)

C、E (1, 2)、NS2、NS3、NS4 (A, B)、NS5 (A, B)



同時に投与すると耐性がすくないのでは！？

すでに動物実験では、著明な効果が報告されており、人間での治験が始まっています。

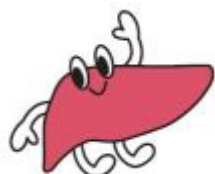
これまでの所、投与例のほとんどでウイルスが早期に消失し副作用もほとんどない
との事です。

この経口抗ウイルス剤2剤による治療が可能になると、

インターフェロンはいらなくなり、誰でも投与可能になるかも知れません。

❀❀夢のような治療が近い将来訪れそうです❀❀

❖❖今はC型肝炎の患者さんを今出来る治療で出来るだけ悪くしないようにして❖❖
❖❖夢の治療を受けさせてあげる事が大事と考えています❖❖



これだけ覚えておけば損はない!

今 回 の ポ イ ン ト

新薬テラプレビルと次の新薬(NS5阻害剤)を同時に投与する臨床試験が始まっています。
その2剤の併用で更なるウイルスの早期消失、副作用軽減が報告されています。
インターフェロンがいなくなり誰でも投与可能になると期待されています。

(文 : 福井県肝疾患診療連携拠点病院協議会 野ッ俣 和夫)